



学校だより

令和6年3月

— 第12号 —



令和5年度の終わりに

岩田 理恵子

いよいよ、今週末、29名の卒業生が立山北部小学校を巣立っていきます。また、来週末には令和5年度の学校生活を終える修了式を迎えます。改めまして、この1年間、皆様からいただきましたご厚情に心から感謝申し上げます。

先日、児童会引継ぎ式を行いました。4月以来、6年生は、学校全体に幸せな笑顔があふれることを願って、素晴らしい活動を繰り広げ、最後まで全校に手本を示してくれました。特にうれしかったのは、一人一人の中に、「普段の学校生活の中から困りごとや課題を見付ける力」「なりたい姿を描き、どうしたら課題解決できるのか具体的な解決方法を考え、提案する力」「話し合って決めた方法を実際にやってみて、うまくいったかを振り返り修正する力」が確かに育ったことです。中学校でも、きっとこれらの力を発揮して活躍してくれると期待しています。

6年生からバトンを受け取った5年生は、よし、自分たちの番だ！と決意を新たに活動しています。また4年生も、その姿に静かに刺激を受けています。4月、新たなリーダーたちが、力強く、自分たちの立山北部小学校をつくっていくことでしょう。今から楽しみでなりません。

保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に多大なるご支援をいただき、本当にありがとうございました。これからも教職員一同、北部っ子のために力を合わせてまいります。今後ともご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

〈行事紹介〉

《卒業式予行練習》

3月12日（火）に卒業式予行練習を行いました。6年生は緊張しながらも、自分たちの一番よい姿を見せたいと真剣に参加していました。在校生は、お祝いの言葉、歌などを気持ちを込めて6年生へ伝えようと一生懸命でした。当日は素敵な卒業式になりそうです。





自分たちでつくり上げた小学校生活

後藤 友梨菜（6年担任）

今年の卒業生には力があります。その力とは、自分たちでつくり上げる力です。誰かに言われたからやるのではなく、自分から「やりたい」と思って取り組む力があるのです。例えば、委員会活動。子供たちは「こんなことやってみたい！」とたくさん意見を提案し、教員のサポートを得ながら様々な活動を実現させました。運動会でもその力は十分に発揮されました。「見る人を楽しみたい！」と従来の応援合戦に隊形移動等を増やすなど、形式に変化を加え、盛り上げることができました。さらに学習発表では「自分たちの手で源平合戦を再現したい！」と思い、セリフや衣装、大道具、小道具、背景、音響、全て子供たちが考え、当日は最高の演技をしました。この時、私は「なんて力のある子供たちなんだ」と感動しました。

これらは、6年間の積み重ねがあってこそのことだと思います。小学校生活で低学年の頃は、指示されて取り組むことの方が多かっただろうけれど、子供たちはそれを「自分たちでつくり上げる糧」にしていたのだと私はようやく気付きました。

最後に自分たちでつくり上げるもの。それは卒業式です。どんな練習が必要か子供たちで決め、友達同士で教え合いながら卒業式練習を進めています。さて、どんな卒業式になるのか。子供たちの立派な姿を目に焼き付けたいと思います。



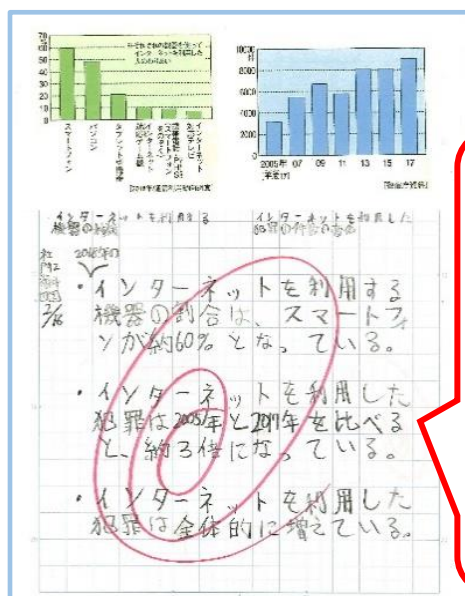
町版学力調査の結果より

大島 孝明（教務主任）

立山町では、全ての学校で4月と12月に県の学力調査とは別に、町版の学力調査を実施しています。（2年生以上）12月に実施した学力調査の結果を分析したところ、どの学年、どの教科も、基礎的な問題はおおむね定着していました。その一方、次のようなことが苦手であることが見えてきました。

- ・自分の思いや考えを明確にすることや、指定された条件に合わせて文書を書くこと
- ・書いてあることの内容を読み取ることや、中心となる文や語を見付け、関係を理解すること
- ・数の意味を考え、正しく式に表したり、図や言葉を使って考え方を説明したりすること
- ・観察記録や実験データを基に、科学的な言葉を使用して考えたり、説明したりすること

これらの結果から、改めて立山町が推し進めている「読み解く力」の向上が大切であることが分かります。本校では各学年、国語に限らず、教科書に書いてある文章の音読や視写、聴写等の機会を多くつくり、読むことや書くことに慣れ親しむことができるようにしています。学年によっては、専用のノートを使って「読み解く力」向上を図る課題に定期的に取り組んでいます。今後も子供たちが、書いてあることの意味をしっかりと捉えることができるよう、働きかけていきたいと思ひます。



「読み解く力」向上に向けた専用のノートを使った取組の例。教科書にある資料のコピーを貼り、読み取ることができたことを書いています。